

考える、語り合う No.18

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和3年10月15日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

近づいてきた運動会

お知らせしているとおり、10月24日日曜日に本校の運動会を開催します。開催まで2週間を切った今週は、運動会に向けた練習や準備作業に力が入ってきました。

画像は、4～6年生による表現「魂叫び」の練習の様子です。4年生にとっては初めての「魂叫び」ですが、1学期に少し練習し、異学年との交流ができるようになった最近は5、6年生から教えてもらうこともあり、曲のテンポにのって踊ることができていました。

5年生は2回目として安定感があり、6年生は3回目で最上級生としての動きができていました。以前は「魂叫び」と「ソーラン節」を1年おき



に披露していたそうですが、「先輩から引き継ぐよさ」、「繰り返して高まるよさ」は教育効果が大きく、また練習の時短効果もあるので、高学年は「魂叫び」を続けたいと思います。

次の画像は「各組アピール」の様子です。こちらも6年生を中心とした応援リーダーが、動きや声出しを丁寧に指示していました。昨年「応援合戦」ではなくなり、自分たちの組の士気や団結力を高めるための時間としました。こちらも少ない時間で効率よく準備を進めています。



最後の画像は、除草作業の様子です。先日「みのり会平山友愛園」のみなさんに、一日かけて作業をしていただき、見違えるほどきれいになりました。しかし、子どもたちにも、「自分たちの運動場を自分たちが整備する」活動が必要だと考え、短い時間でしたが取り組ませました。暑い中でしたが、どの学年の子どもたちも黙々と草を取り、4年生は用具の後始末を、6年生は最後のグラウンドブラシかけを気持ちよく引き受けてくれました。川原小の子どもたちの、このような作業にサボることなく真面目に取り組むところが立派で、大好きです!!

